

- それでは、改めてお昼の挨拶をしましょう。桜っ子の皆さん、こんにちは。
- 早いもので、2025年が始まってからまもなくひと月が経ち、来週から2月となります。今は、1年の中でも一番寒い時季です。そんな中でも、朝や休み時間に、校庭に出て、マラソンをしたり、元気いっぱいに遊んだりする桜っ子の姿がたくさん見られます。寒さに負けず、体を鍛えている桜っ子、とてもかっこいいです。
- さて、今度の日曜日、2月2日は「節分」です。今日は節分にまつわる話をします。
- 節分とは「季節を分ける」という意味です。だから、昔は、暦の上で季節の始まりを表す「立春・立夏・立秋・立冬」の前日の、季節の変わり目の日のことをすべて「節分」と呼んでいました。ということは、1年に4回、節分があったということです。そして、これらの季節の節目には「邪気」が入ってくると信じられていました。豆まきは、それらの見えない悪いものを鬼に見たて、それを追い払うために行われるようになった風習です。
- 特に立春の前日の「節分」は、昔の暦の新年の前日＝大みそかにあたるので、とても大事にされ、さまざまな催しが行われてきました。その中でも一番有名なのが、先ほど話した「豆まき」です。「鬼は外、福は内」と掛け声をかけながら、豆をまき、鬼に見立てた災い・悪いものを退治するものです。
- 外からやってくる「災い」などの鬼は、豆をまくことで追い払うことができますが、「自分の心の中の鬼」は退治することがなかなか難しいです。
- 誰の心にも棲んでいる「心の中の鬼」。例えば「やる気が出ない、だらだらする」という「なまけ鬼」、「欲深くてなんでも欲しがる」「欲しがり鬼」、「とてもわがままで自己中心的。自分勝手な」「わがまま鬼」などなど、いろいろな種類の「心の中の鬼」がいます。
- そんな「心の中の鬼」を退治する方法は、たった一つだけです。それは、「心の中の鬼を退治しよう」という強い気持ちを持つことです。

○皆さん、「新年」に「今年は〇〇を頑張ろう」と目標を持ったと思います。

○心の中に「なまけ鬼」が現れて、「がんばろう」という気持ちが薄れている人は、節分・立春を機に、もう一度新年に戻った気持ちで、頑張ってみましょう。2月は、「心の鬼」が現れやすい「持久走大会」があります。その持久走大会に向けて「自分なりの目標を決めて、努力を続ける」ことも、「心の鬼退治」には有効だと思います。ぜひ、一層カッコいい自分になるために、努力を続ける2月にしてほしいと思います。

○まだまだ寒い日々が続きますが、春は確実に近づいています。みんなで元気に頑張っていきましょう。

○お話をおわります。